

令和3年度 活動報告

《湖山地区人推協活動》

日程	項目	参加人数
R3年4月22日(木)	理事会	6
4月28日(水)	総会(書面開催)	-
6月8日(火)	理事会	6
7月15日(木)	小地域懇談会学習資料配布	5
9月27日(月)	理事会	6
11月14日(木)	理事会	6
12月17日(金)	理事会	6
R4年1月27日(木)	理事会	5

*新型コロナのため、県外視察研修・人権講演会は中止

《湖東ブロック人推協活動》

日程	項目	参加人数
R3年4月9日(金)	総会	2
8月2日(月)	人権啓発研修会打合せ会	2
12月1日(水)	会長研修会	2

*新型コロナのため、人権研修会・人権啓発推進員研修会は中止

《鳥取市地区人推協連合会・県人推協活動》

日程	項目	参加人数
R3年5月14日(金)	第41回鳥取市地区人権啓発推進協議会連合会総会	2
7月12日(月)	推進員研修会(選択講座)	1
8月6日(水)	第46回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会(書面開催)	2
9月30日(日)	推進員研修会(選択講座)	1
10月6日(水)	推進員研修会(選択講座)	1
12月11日(土)	推進員全体研修会	4

*新型コロナのため、推進員研修会5講座が中止



就任のごあいさつ

湖山地区人権啓発推進員 滝河 和子

この度、湖山地区人権啓発推進員をお受けすることになりました。お話いただいた時はどこまでできるか、自信がありませんでしたが、自分を振り返る良い機会と捉え、お引き受けさせていただきました。人権について地域の皆さまと一緒に、学習していければと思っております。

さて、昨今良く『多様性』という言葉に耳にします。元々、生物の存在について使われる言葉であったものが、今では人の存在そのものの意義や生きる意味に繋がっているように感じています。地域においても、それぞれの方が繋がり、お互いの存在の大切さを認めあえるような『多様性』に富んだ、豊かな湖山地区にできるよう、微力ではありますが、研鑽を積んでいきますので、よろしくお願いいたします。



就任のごあいさつ

湖山地区人権啓発推進員 藤井 あゆみ

「人権啓発推進員になってほしい」と、公民館の方からお声掛けいただいた時、正直、どのような活動をしているのか、わかりませんでした。

『人権』という言葉のイメージから、難しそうだな…という思いもあったのですが、「勉強になるよ。」とってくださいる方もあり、これもご縁と、お受けすることにしました。

初年度は、コロナ禍で開催できない行事も多く、参加した研修も、まだまだ少ないですが、そんな中でも、初めて知ることがたくさんあり、とても良い学びになっています。

私のように、人権問題は難しい、よくわからないと思っている皆さまにも、小地域懇談会や講演会などに参加することで、人権問題をもっと身近に感じていただき、より人に優しく、みんなが笑顔で過ごせるような町になるよう努めていきたいと思っております。

令和3年度 人権購入図書

- 差別はたいてい 悪意のない人がする キム・ジハ(著)
- 生きるって、なに? たかのてるこ(著)
- ぼく モグラ キツネ 馬 チャーリー・マッケジ(著)
- せかいのひとびと ピーター・スピア(著)
- 加害者家族を支援する 阿部 恭子(著)
- 認知症世界の歩き方 寛 裕介(著)
- 国谷裕子と考える SDGsがわかる本 国谷 裕子(著)
- じぶんだけのいろ レオ・レオニ(著)
- いろいろな かぞくのほん メアリ・ホフマン(著)
- 身の回りから 人権を考える80のヒント 武部 康広(著)
- 世界がぐっと近くなる SDGsとボクラをつなぐ本 池上 彰(著)
- 世界中の子どもの 権利をまもる30の方法 甲斐田 万智子(編集)
- すきなこと にがてなこと 新井 洋行(著)
- マンガでわかる LGBTQ+パレットーク(著) ケイカ(著・イラスト)
- だいじょうぶだよ ぼくのおばあちゃん 長谷川 和夫(著)

編集後記

今年度も新型コロナウイルス感染症に終始した一年となりました。

早期にこの感染症が収束し、これまでのいつもの日常を早く取り戻せることを願いながら、湖山地区人推協の事業を進めてまいりたいと思っておりますので、町民の皆さまのご協力とご支援をいただきますようお願いいたします。

日本国憲法(抄)

第十四条 すべて国民は、法の下(もと)に平等であつて、人種、信条、性別、社会的的身分又は門地により、政治的・経済的又は社会的関係において、差別されない。

こやま地区 人推協だより

- 第29号 -

2022年(令和4年)3月25日
編集・発行
湖山地区人権啓発推進協議会
〒680-0941 鳥取市湖山町北1丁目202-1
TEL(0857)28-1017
FAX(0857)28-1119



救急救命講習会 (普通救命講習Ⅰ)



おもいやりあふれる まちづくりをめざして

今年度も昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症対応のため、なかなか人々が集まったの事業ができず、計画を大幅に見直さざるを得ないなかでの1年となりました。年初総会は書面開催・書面決議で実施しましたが、県外視察研修、子どもたちとのふれあい事業、なかでも人権講演会は開催1週間前に鳥取県版新型コロナ警報が発令され、残念ながら中止といたしました。本協議会の重要事業の一つである小地域懇談会は、昨年度と同様に「三密」回避の観点から例年通りの町区毎開催を止め、認知症に関する資料の全戸配布とアンケート実施いたしました。(詳細は2~3ページを参照)

湖山地区人権啓発推進協議会
会長 田中 忠義

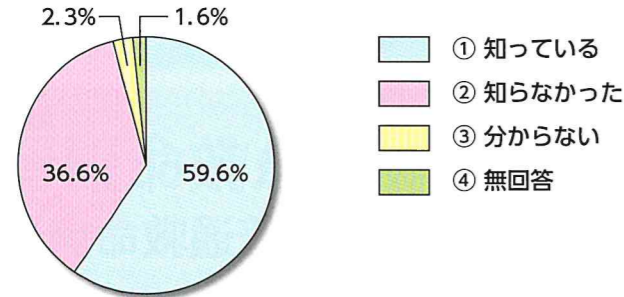
結果は38.1%の高い回収率であり、認知症についての正しい理解を深め、認知症の方やその家族が安心して暮らしていける社会の大切さを考えていただけるなど、町民のみなさまの関心の高さが感じられました。

終わりに、来年度は新型コロナウイルス感染症の早期収束を願うなか、人権を身近な問題として考えていただけるよう取り組み、おもいやりあふれるまちづくりをめざしてまいりますので、みなさまの一層のご理解とご協力をお願いいたします。



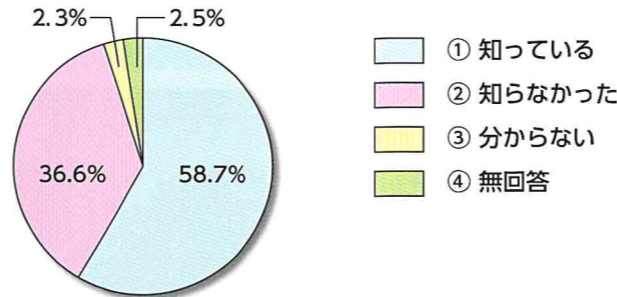
『思いやりあふれるまちづくりをめざして』 令和2・3年度 小地域懇談会に関するアンケート湖山町全体集計結果

問1 各町区では2年に1回、小地域懇談会を開催していますが、小地域懇談会が開催されていることを知っていましたか？



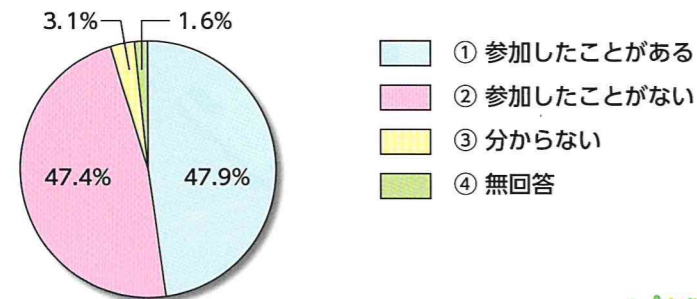
約6割の方は、自分の町区で小地域懇談会が開催されていることを理解されているが、約4割の方は、知らなかった、分からないと回答しており、人権問題に関して無関心なところがあるのではと思われる。

問2 小地域懇談会は、人権問題について学習する場であると知っていましたか？



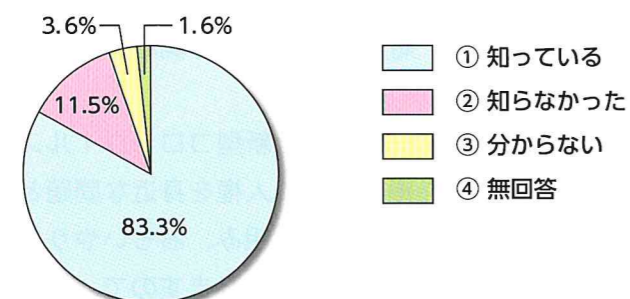
問1と同じ傾向で、約6割の方は理解されているのに対し、約4割の方は、知らなかった、分からないと回答しており、人権問題に関して無関心なところがあるのではと思われる。

問3 今までに、小地域懇談会に参加したことがありますか？



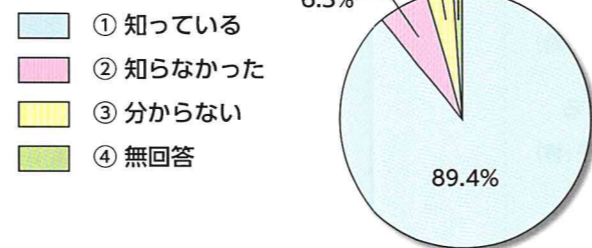
約5割弱の方は、小地域懇談会に参加したことがあると回答しているのに対し、5割の方は、参加したことがない回答している。これら参加したことがない人に対し、小地域懇談会の開催方法・時期や内容、内容などについて、検討を深めていく必要がある。

問5 認知症は、早期発見、早期治療、早期対応で進行を遅らせることや、症状を改善することができることを知っていましたか？



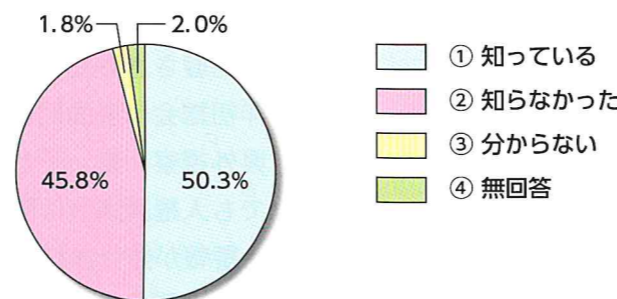
約8割の多くの町民が理解されているが、約2割の方は、知らなかった、分からないと回答している。これは身近に高齢者や認知症を発症された方がいない家庭では、認知症に関して無関心なところがあるのではと思われる。

問4 今回の配布資料は「認知症」に関する鳥取市の資料です。2025年には高齢者の5人に1人、20%が認知症になるとの推計があります。認知症の最大の要因は「加齢」によるもので、誰にでも起こりうる身近な病気であることを知っていましたか？



約9割の多くの方が理解されているが、約1割の方は、知らなかった、分からないと回答している。これは、高齢者がいない家庭では認知症に関して無関心なところがあるのではと思われる。

問6 認知症の相談を含め、高齢者の介護や公的サービス等に関する総合相談窓口が「地域包括支援センター」であることを知っていましたか？



約5割と、半数の方が認知されているが、約5割の方は、知らなかった、分からないと回答している。地域包括支援センターが高齢者の認知症や介護、あるいは公的サービス等に関する総合相談窓口であることを、行政を含め、もっとPRしていく必要があると思われる。

アンケートより

- 今回のテーマである「認知症」には大変苦労してきました。同居していた実母が認知症になり、デイサービスにお世話になりながらも誰からも認知症と知らされず、かかりつけの医師もはっきりとは言わず、亡くなってから、ほのめかしていた言葉の意味に気付き、そうと分かればもっと手立てがあったのにと悔やみました。現状は、福祉と医療が連携しておらず結局家族が路頭に迷うということです。これを密につなぐ必要があります。誰も経験者ではないことを前提として。
- 直接懇談会ができなくても、資料が配布されることで、多くの人の目につくし、内容がとてわかりやすく参考になりました。良かったです。
- 参加者の高齢化・特定化が課題のため、広くPRし参加者の拡大が必要。
- 会員数が少なく、参加希望も少ないので、他地域の会の仲間としてもらいましたが、こうしてもらえると参加できるチャンスが生まれ、ありがたいです。

令和4年度 小地域懇談会 開催町区

- 島川 ● 茶屋4区 ● 青葉台
- 駅前1区 ● 駅前2区 ● 南2丁目
- 南2丁目南 ● 南団地 ● さかえ ● 農高南

救急救命講習会(公民館共催事業)

- 日付: 令和3年10月31日(日) ① 9:00~12:00 ② 13:00~16:00

- 場所: 湖山地区公民館
- 講師: 鳥取市消防団湖山分団



新型コロナウイルスが少し落ち着いてきた10月31日(日)、鳥取市消防団湖山分団のみなさんを講師に、30名の参加を得て、午前と午後に分けて普通救急救命講習会が行われました。

当日は救命講習テキストを基にした座学では、心停止で倒れて3~5分以内にAEDが使用できれば70%近くの救命が可能だが、10分を経過すると低酸素脳症により救命はほぼ難しく、5分以内にAEDを使用できるかどうかのカギになることを学びました。

また、異物除去や止血法、毛布を使った負傷者の運搬方法等を、分団員の方々の実演を交えて教えていただきました。

AEDを使った心肺蘇生方法では、コロナ感染防止のため全員がゴム手袋を着用し、胸骨圧迫では垂直に30回連続で圧迫することやAED操作では電極パッドを貼る位置の確認など、基本的なことを学ぶことができました。

参加された方々には、万が一の時に命をつなぐことの重要性和心肺蘇生法やAEDの使用方法など体験的に学ぶ機会となりました。

参加者の声として、「実際に救急救命の場面に出くわしたら、きっと戸惑ってしまうと思うが、今回学んだことで少し自信がついた。」との感想をいただきました。